

現状報告 高校での「情報科」教育～ 大阪府内高校への調査結果をもとに

大阪府高等学校情報教育研究会

加藤 光(大阪府立岬高等学校)

調査票→<http://osakajoho.net/db>

今日お話する内容

- **調査の概要と調査に至った背景**
- **調査の集計(と考察)**
- **現場の教員が考える「思考力・判断力・表現力」**

調査報告。その前に、

今回の調査を行うことになった背景

1. 今日の後援依頼と研究会会員の登壇要請
2. 研究会会員の加入→府内高校の1／3程度
3. 研究会が全体の状況を把握できているわけではない実情
4. 調査資料を通じて世の中の動向を伝える
－（中教審答申、高大接続システムの資料を添付）

『情報科』大学入学者選抜における 評価手法に関連した実態把握 調査背景

1. **平成28年12月21日「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)(中教審第197号)」**
 - 次期学習指導要領では、(中略)、必履修科目としての「情報Ⅰ」の基礎の上に、(中略)「情報Ⅱ」を設定することが明記。
2. **平成28年3月「高大接続システム改革会議」の最終報告**
 - 「(仮称)大学入学希望者学力評価テスト」出題科目として情報が検討。
3. **文部科学省 大学入学者選抜改革推進受託事業「情報学的アプローチによる『情報科』大学入学者選抜における評価手法の研究開発」**
 - 教科「情報」の大学入試導入やCBTによる入試導入が検討。

調查概要

調査概要

- **目的**

- 次期学習指導要領における教科「情報」とその評価方法(含大学入試)について現在の高校の先生方の考えを調査し、次期学習指導要領に備える

- **対象**

- 大阪府内高等学校(約300校)の共通教科「情報」(または代替科目)担当

- **実施主体**

- 大阪府高等学校情報教育研究会
- 一般社団法人 情報処理学会 情報入試研究会

調査方法(全数調査)

- 府内高等学校・支援学校(320校)
- 集計用紙
 - 府立学校(府立高校:138校、支援学校:46校)
 - 学校代表メール宛送信
 - 市立学校(大阪市、堺市、岸和田市、東大阪市:27校)
 - 逡送便(各市役所気付)により送付
 - 私立学校(104校)
 - 連絡箱@私学会館(京橋)に投函
 - 国立、および株式会社立(5校)
 - 郵送により送付
- 回答方法
 - 1)Webフォームに入力、2)調査票をメール受付、3)調査票をFAX受付
- 受付期間
 - 平成29年2月14日～平成29年3月15日

調査の集計結果

調査票は研究会ウェブサイト

<http://osakajoho.net/db>

回答概要

- 回答校 75校

- 国立 1校

- (1.3%)

- 府立 53校

- (70.7%)

- 市立 1校

- (1.3%)

- 私立 19校

- (25.3%)

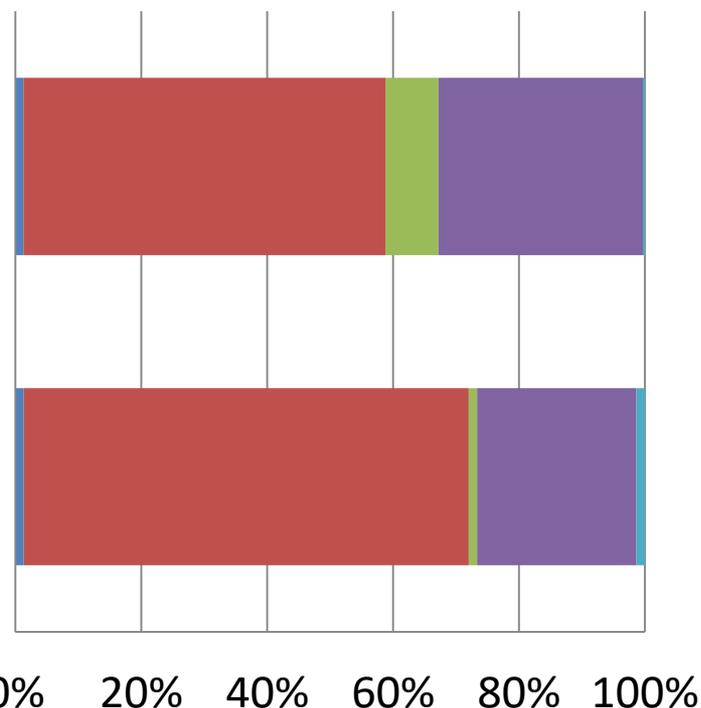
- 株式会社立 1校

- (1.3%)

回答校の比率

府内 320校

回答75校

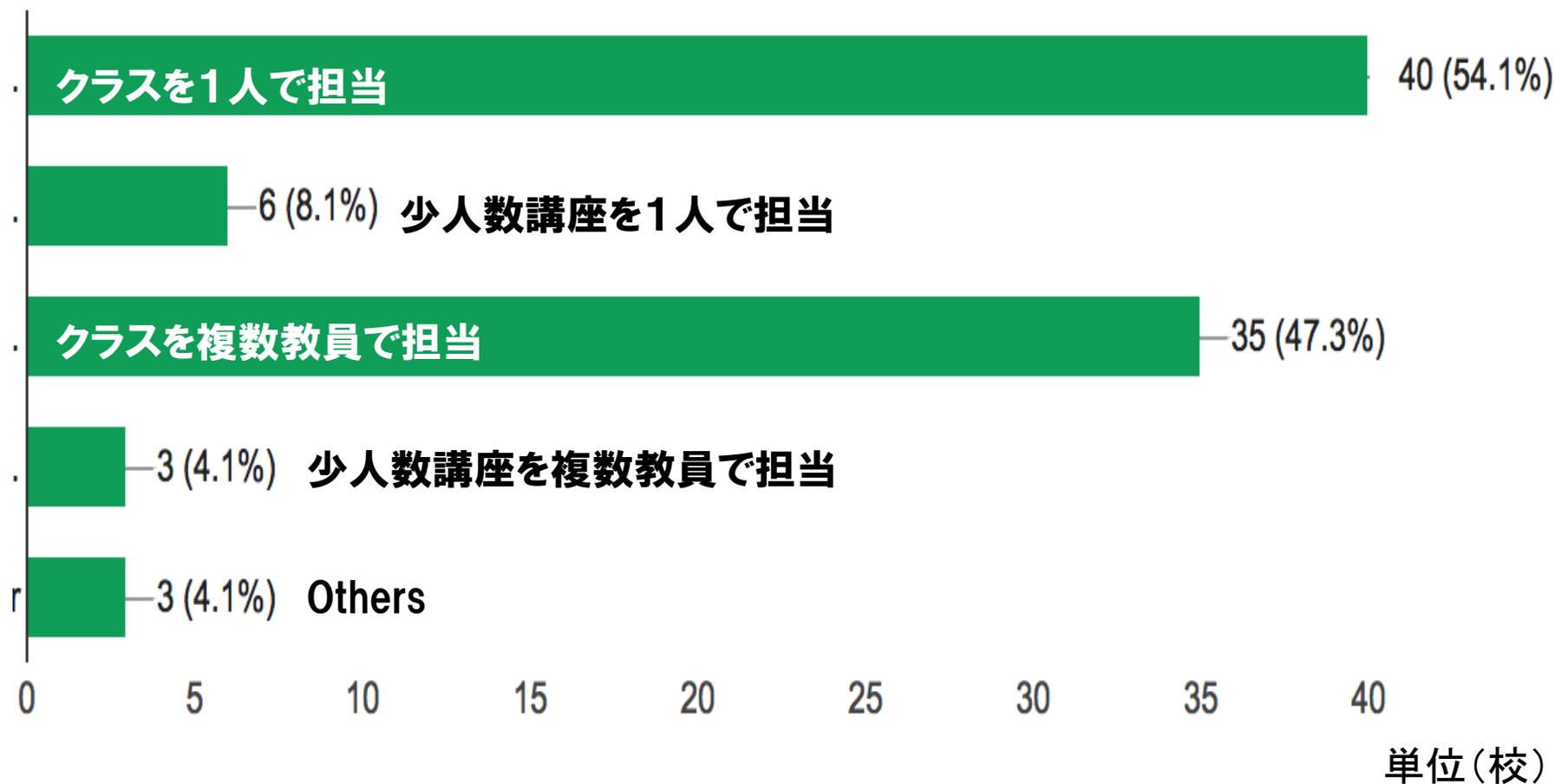


■ 国立 ■ 府立 ■ 市立 ■ 私立 ■ 株式会社立

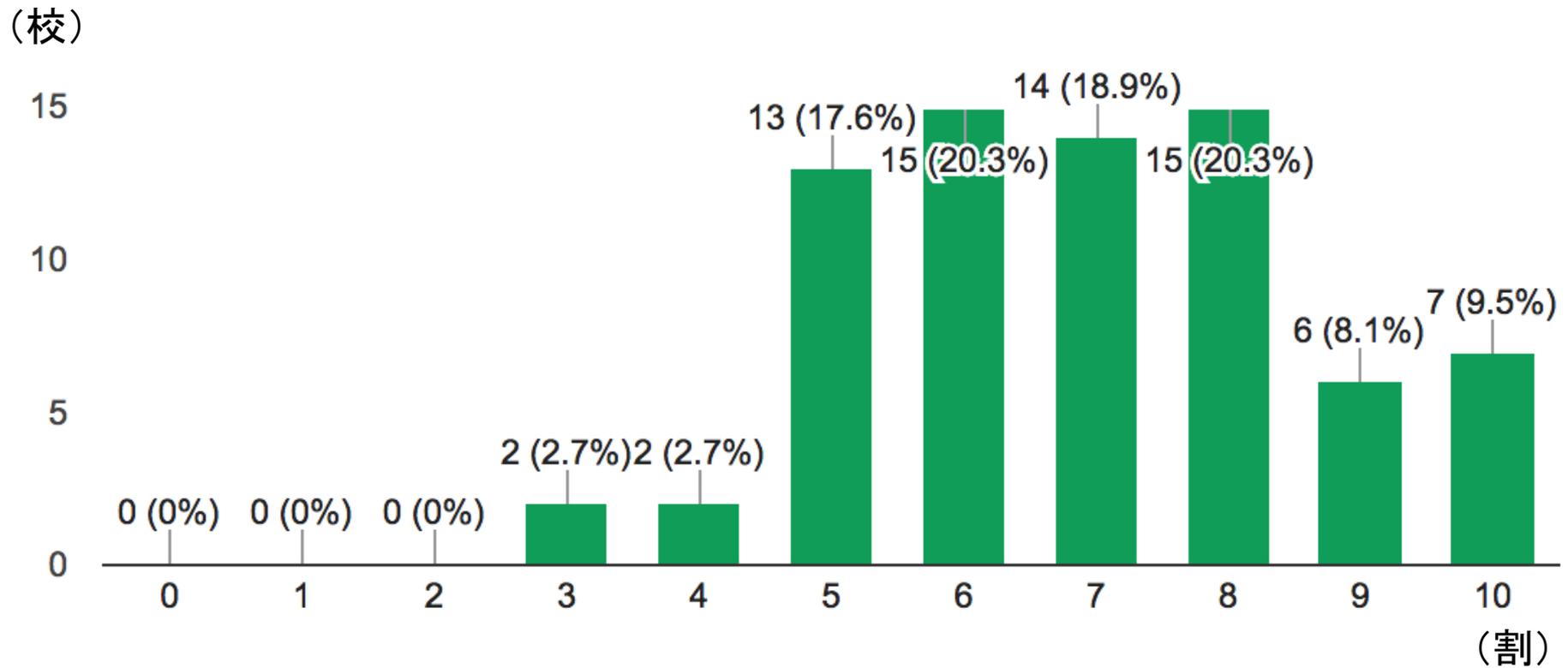
教員人員(単位:人)

	常勤	非常勤
全体平均	1.95	0.56
普通科	1.70	0.57
専門学科	5.25	1.00
総合学科	2.56	0.67
その他	1.29	0.57
	常勤	非常勤
国公立	2.10	0.50
私(株式会社)立	1.50	0.70

1. 授業形態(複数回答)



2. 実習の割合

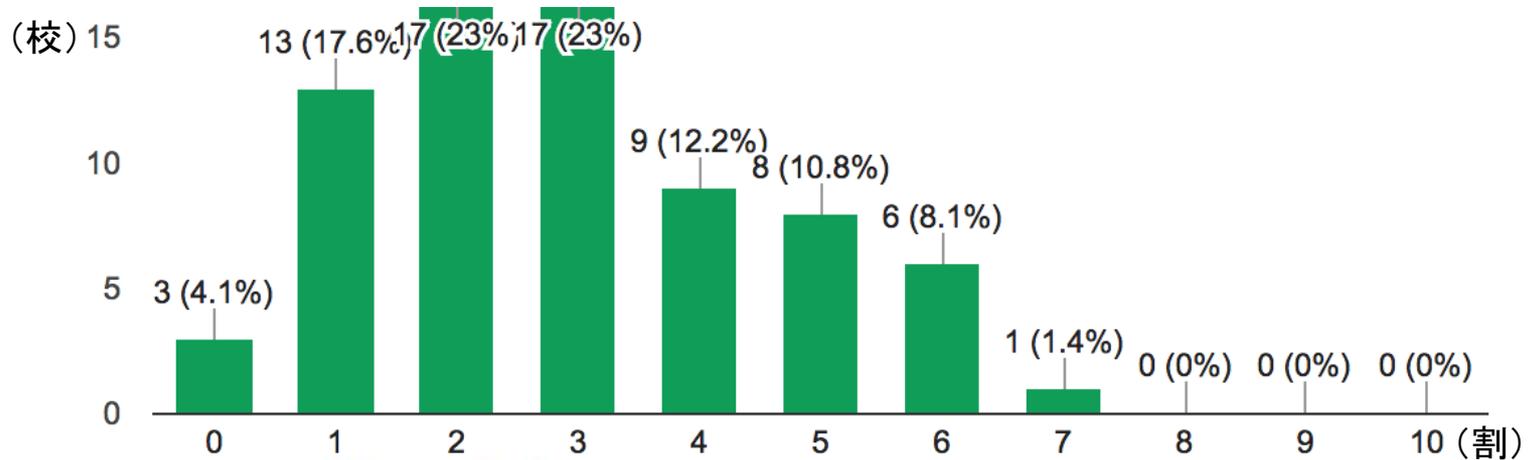


2. 実習の割合(単位:%)

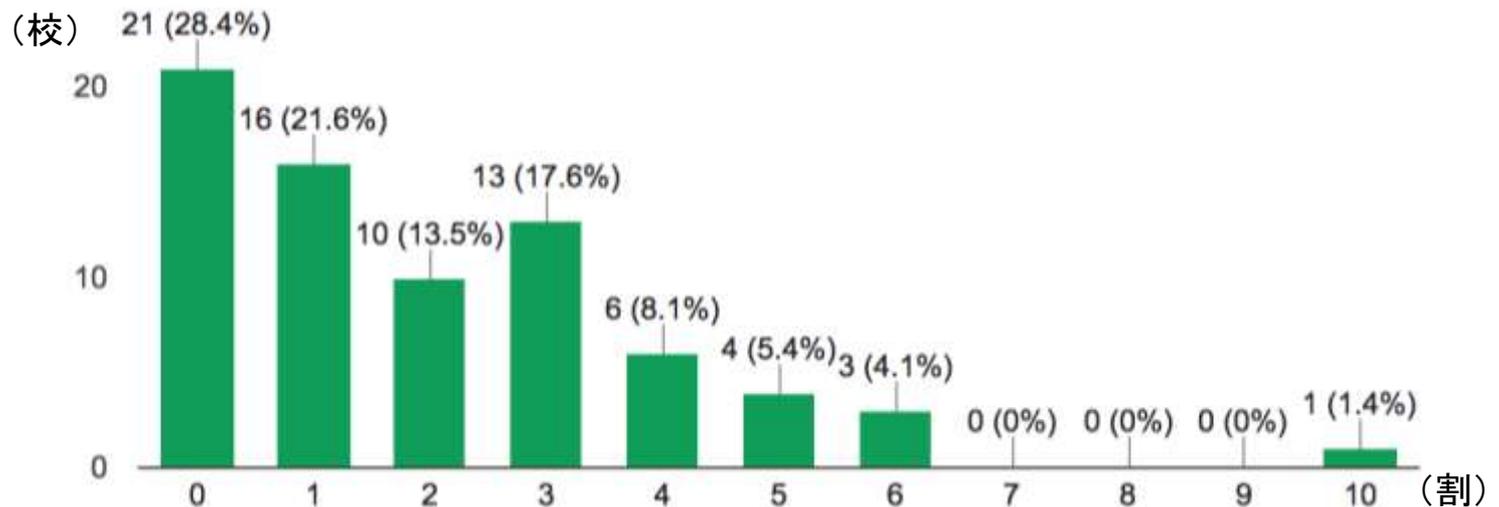
	常勤
全体平均	69.1
普通科	67.2
専門学科	64.0
総合学科	71.1
その他	84.2
	常勤
国公立	71.0
私(株式会社)立	61.5

3. 何を使って指導をしているか

教科書の使用割合 (74 responses)

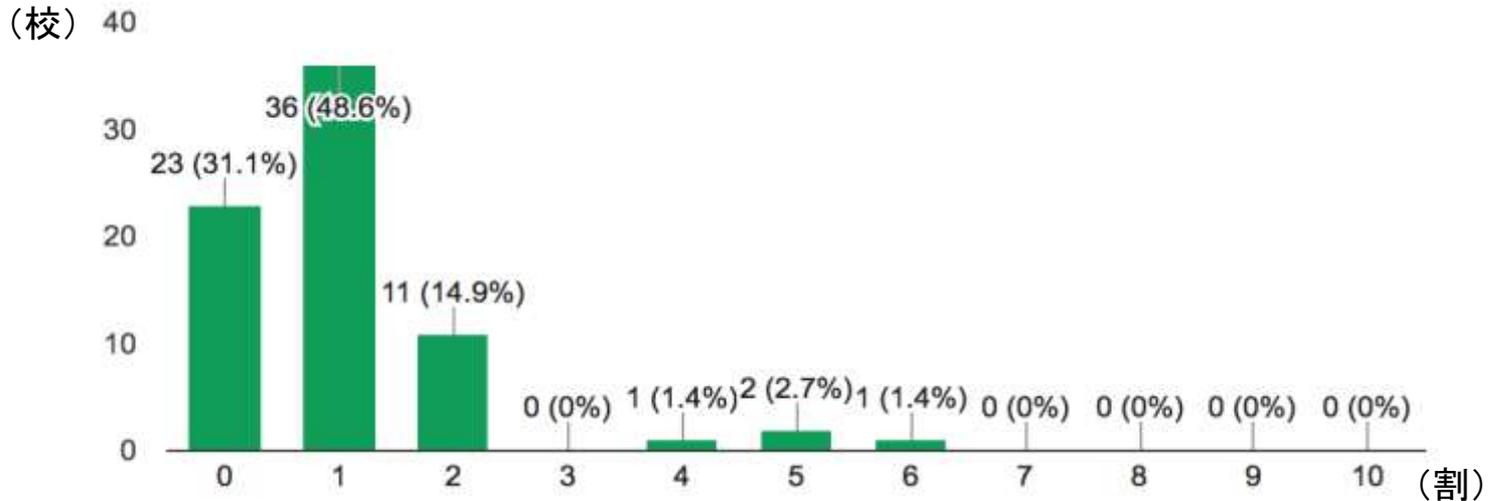


副読本・ワークの使用割合 (74 responses)

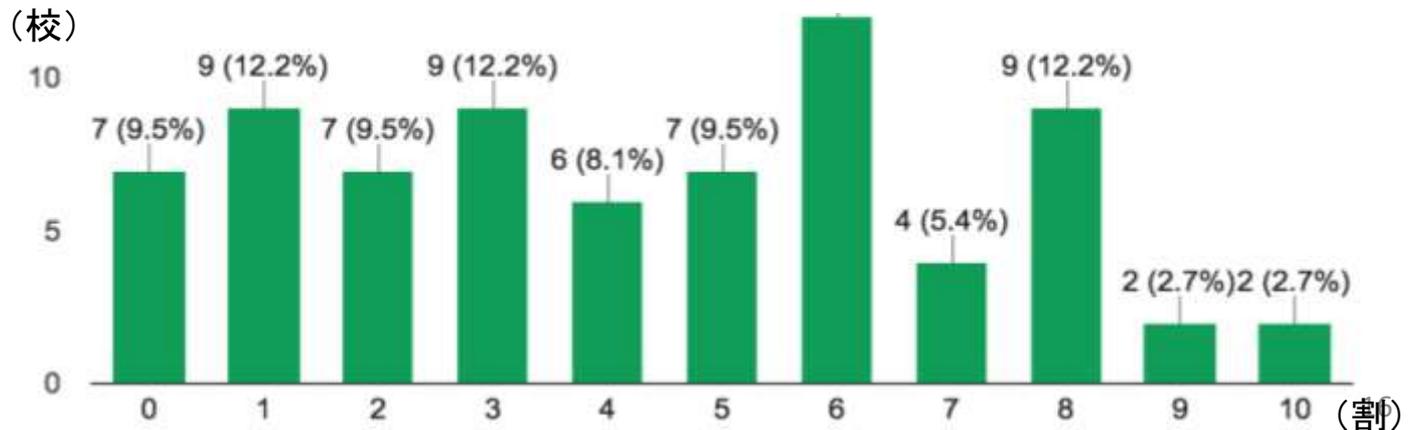


3. 何を使って指導をしているか

映像教材の使用割合 (74 responses)

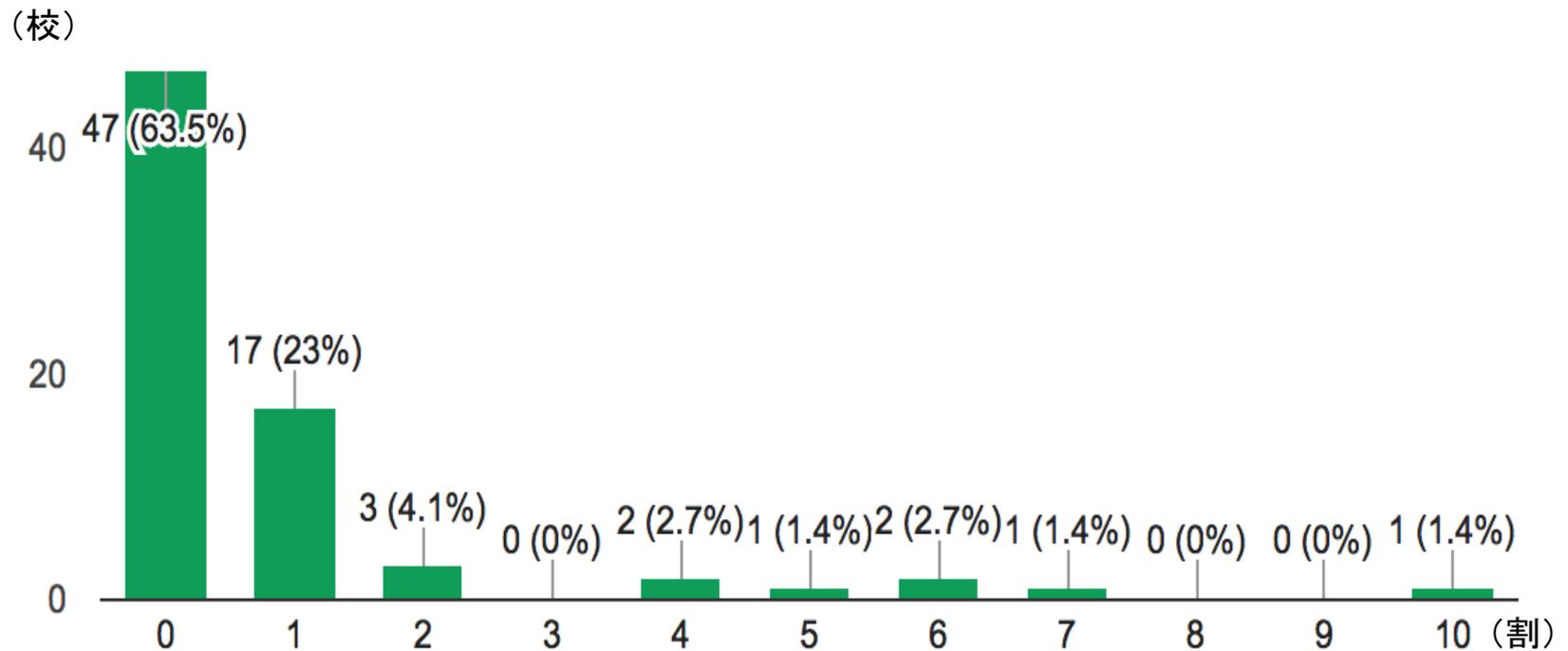


独自教材の使用割合 (74 responses)



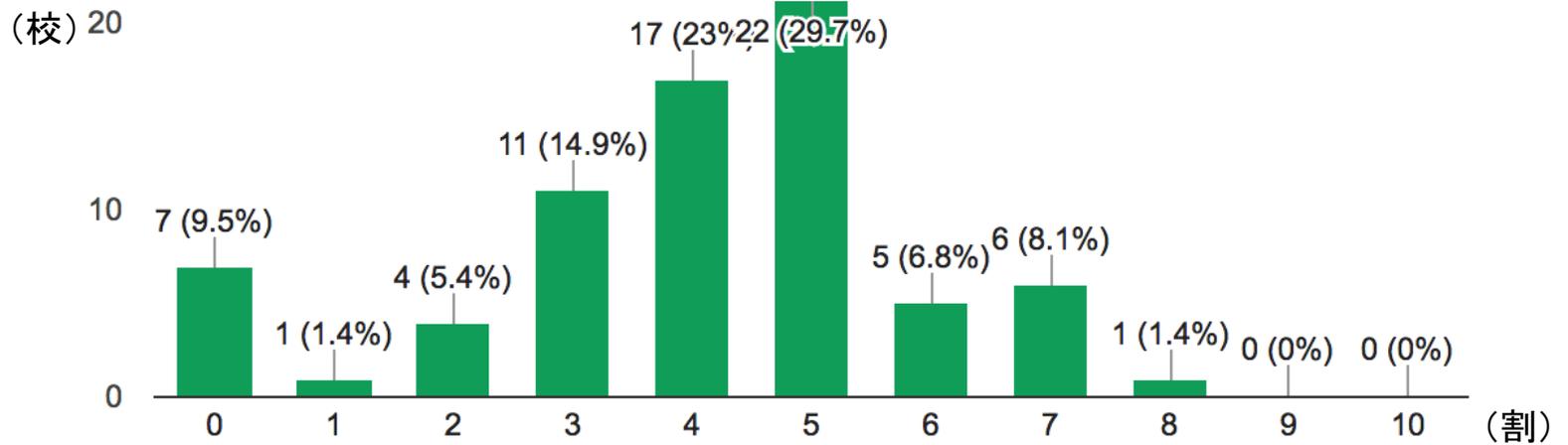
3. 何を使って指導をしているか

その他教材の使用割合 (74 responses)

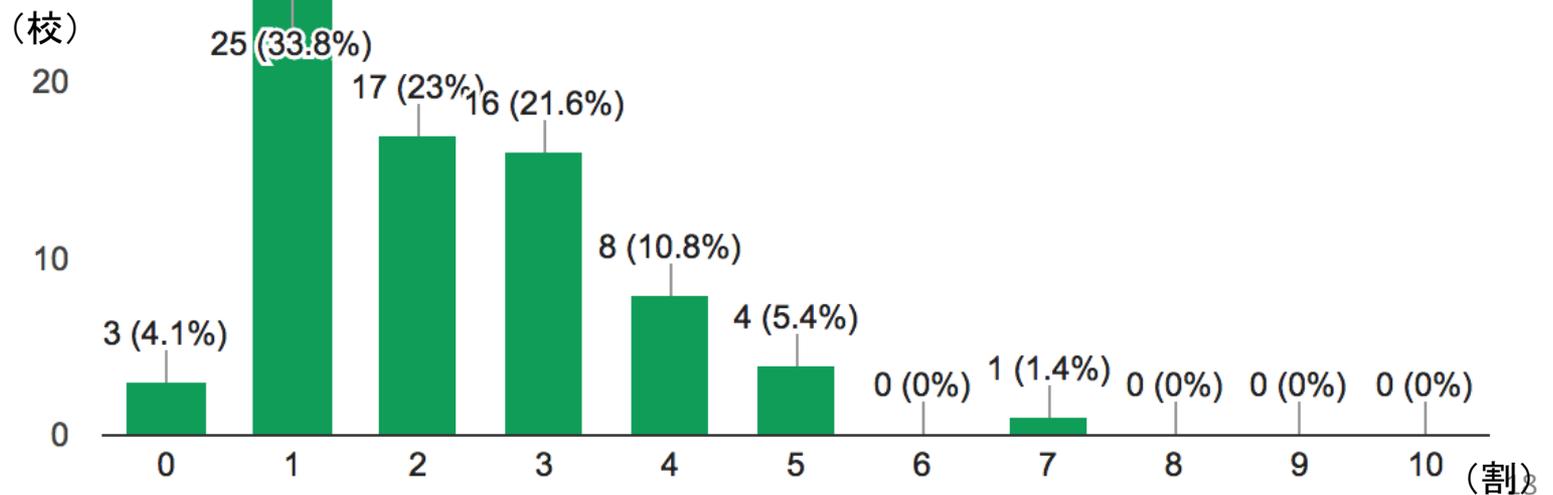


4. 評価方法

試験 (74 responses)

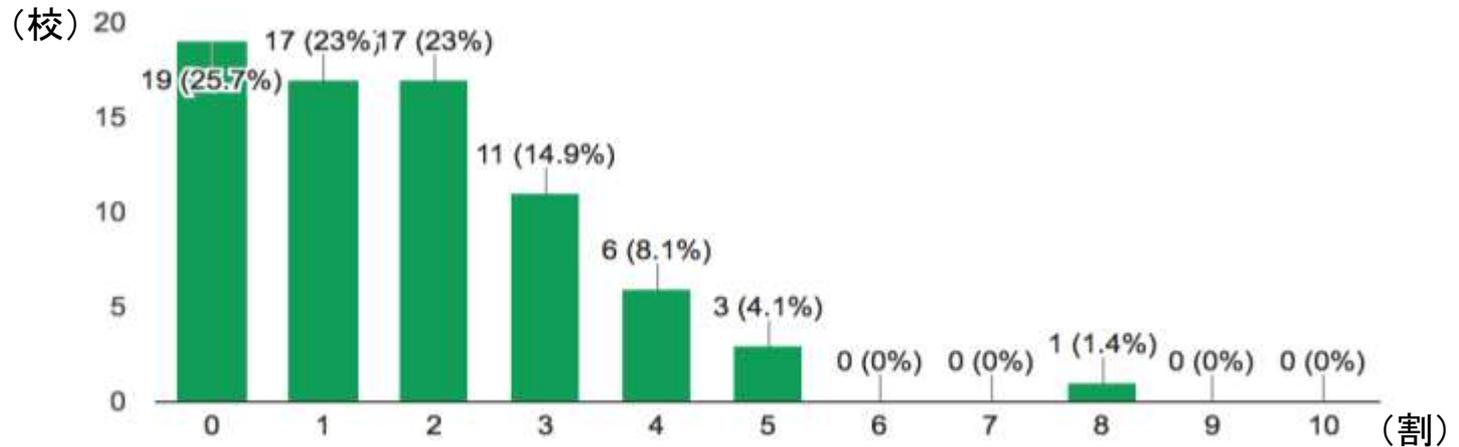


提出物 (74 responses)

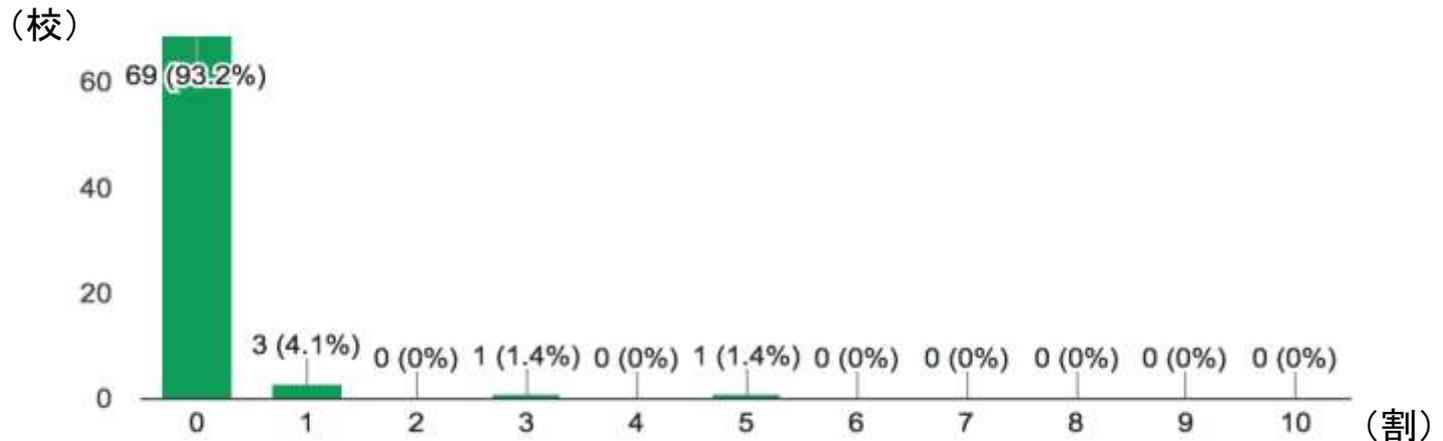


4. 評価方法

発表 (74 responses)

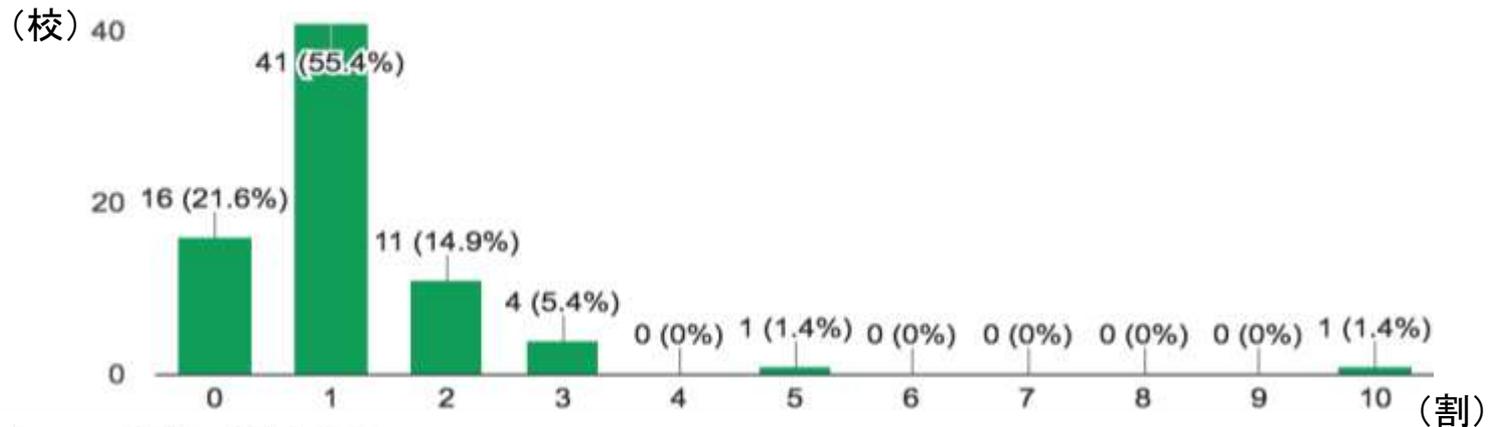


検定・資格 (74 responses)

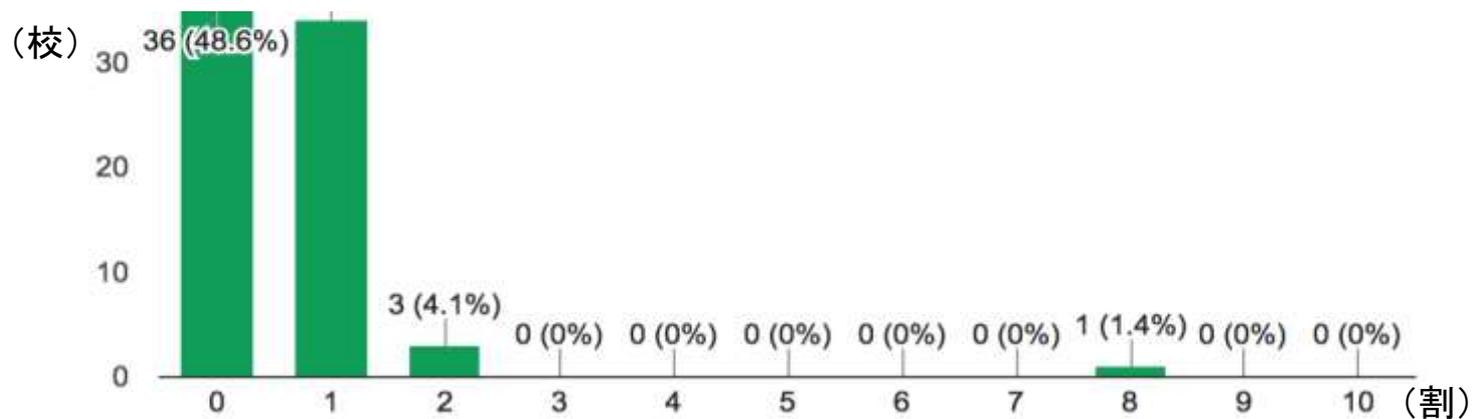


4. 評価方法

学習態度 (74 responses)

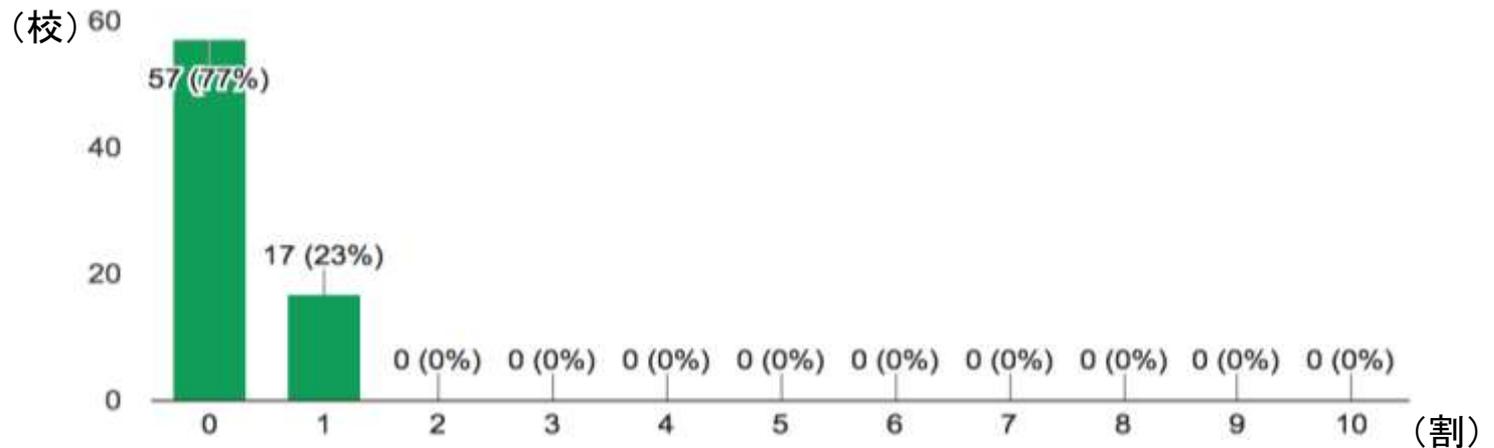


生徒による相互評価 (74 responses)

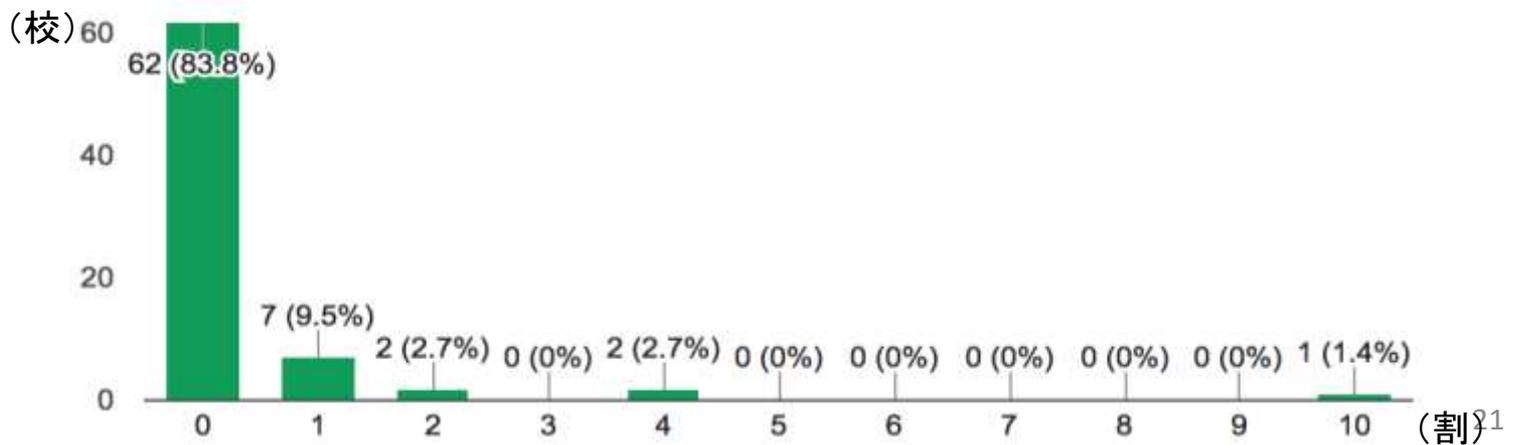


4. 評価方法

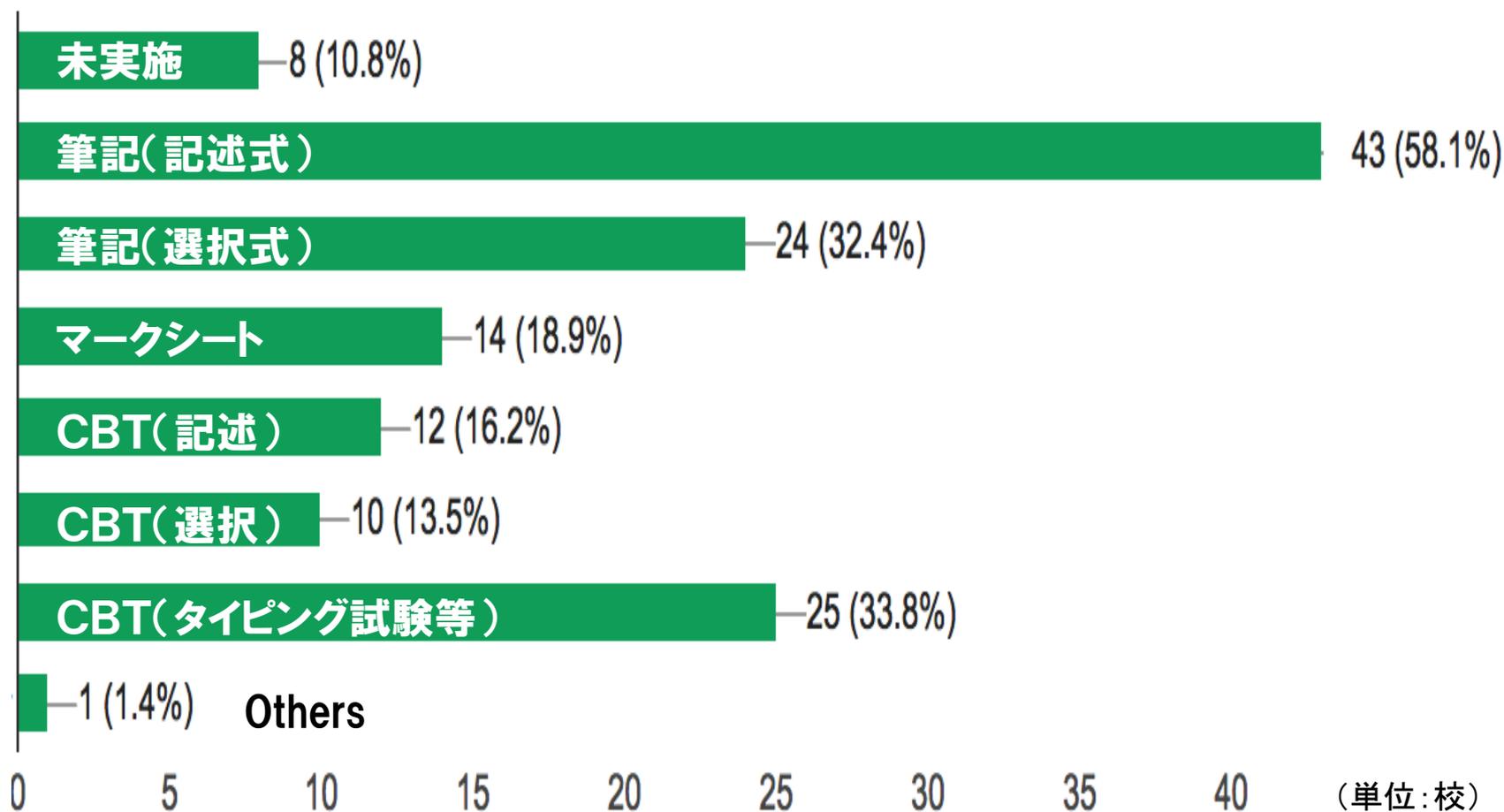
生徒による自己評価 (74 responses)



その他 (74 responses)

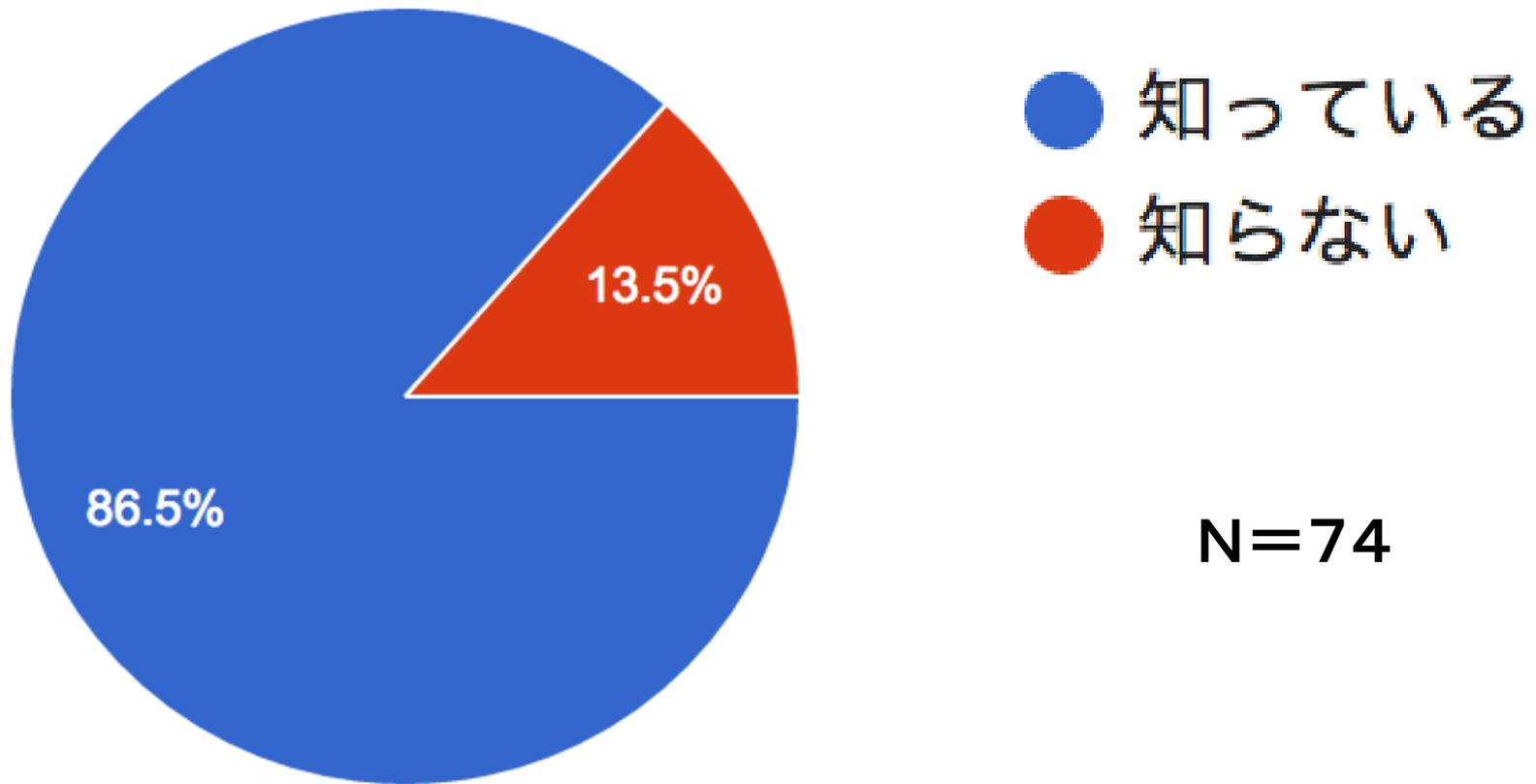


5. (小)テストの実施方法(複数回答)



次期学習指導要領・関連

情報Ⅰ、Ⅱになることを

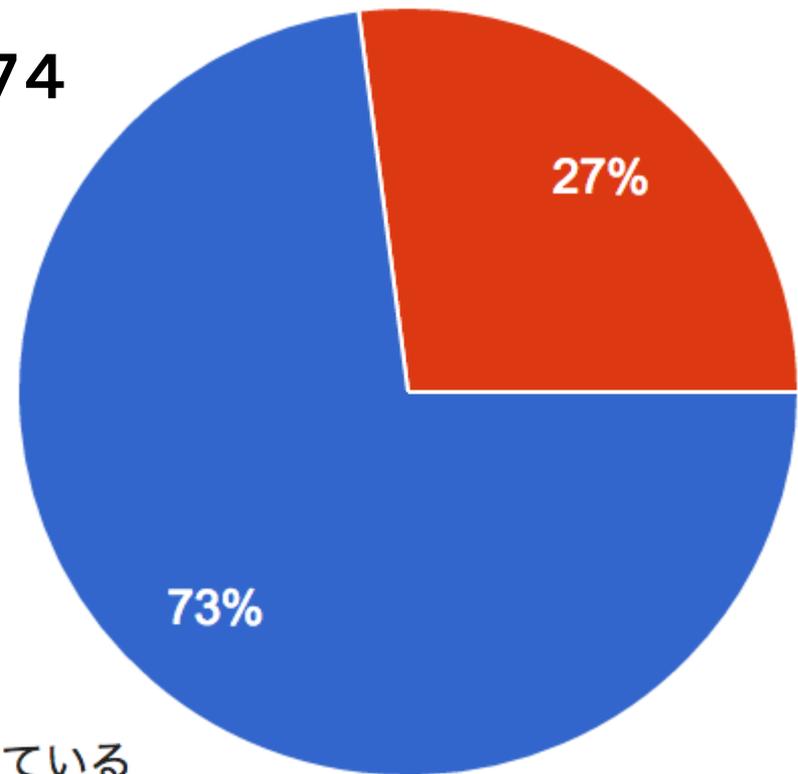
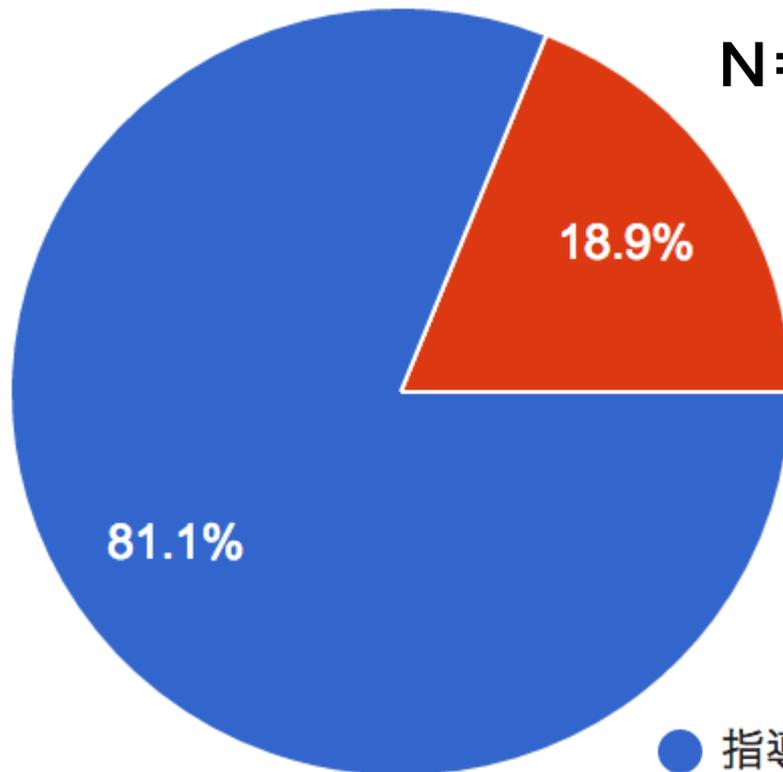


情報Ⅰの内容を現時点で…

情報社会の問題解決

コミュニケーションと情報デザイン

N=74



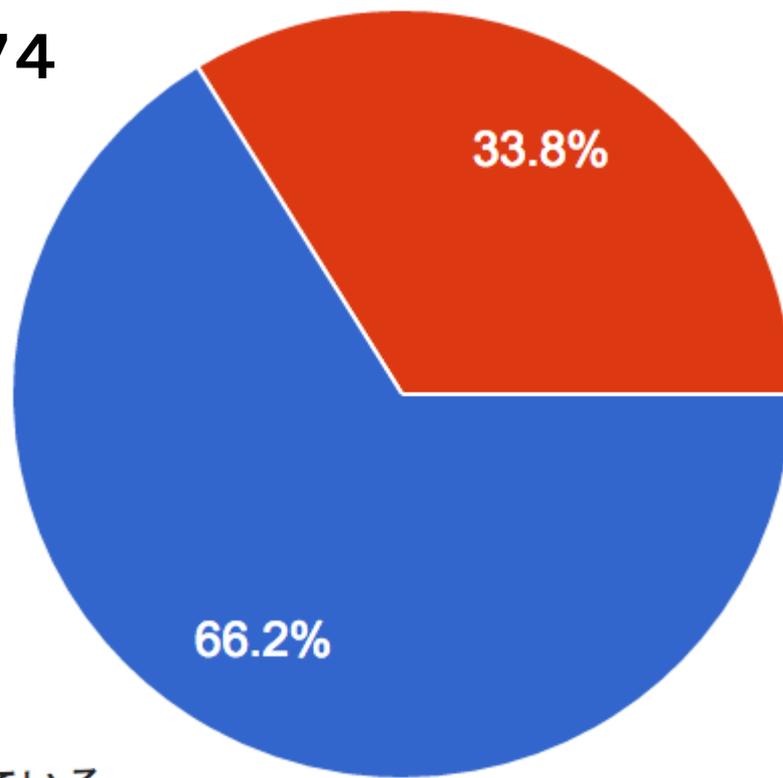
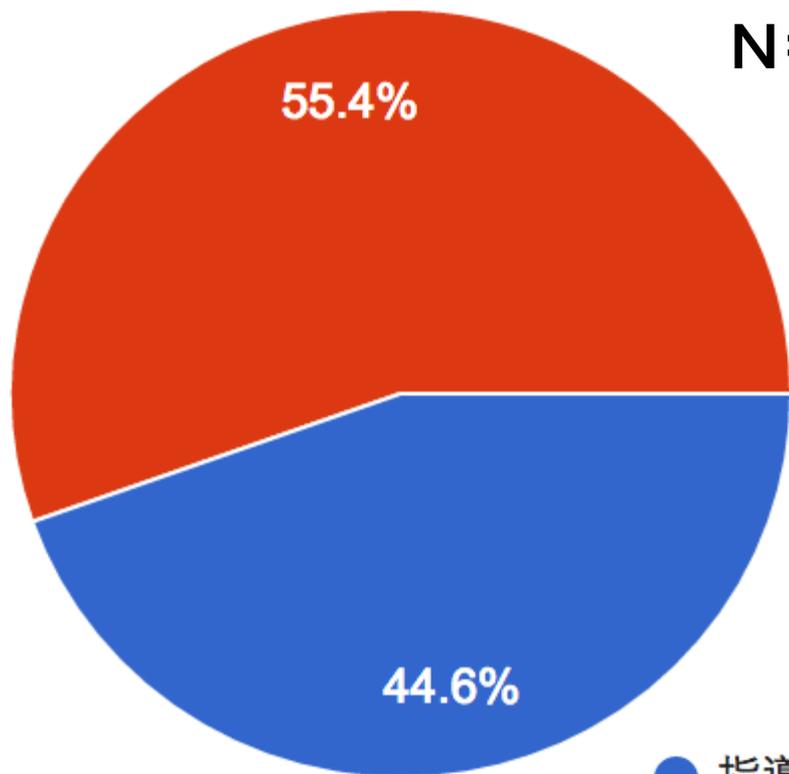
- 指導している
- 指導していない

情報 I の内容を現時点で…

コンピュータとプログラミング

情報通信ネットワークとデータの
利用

N=74



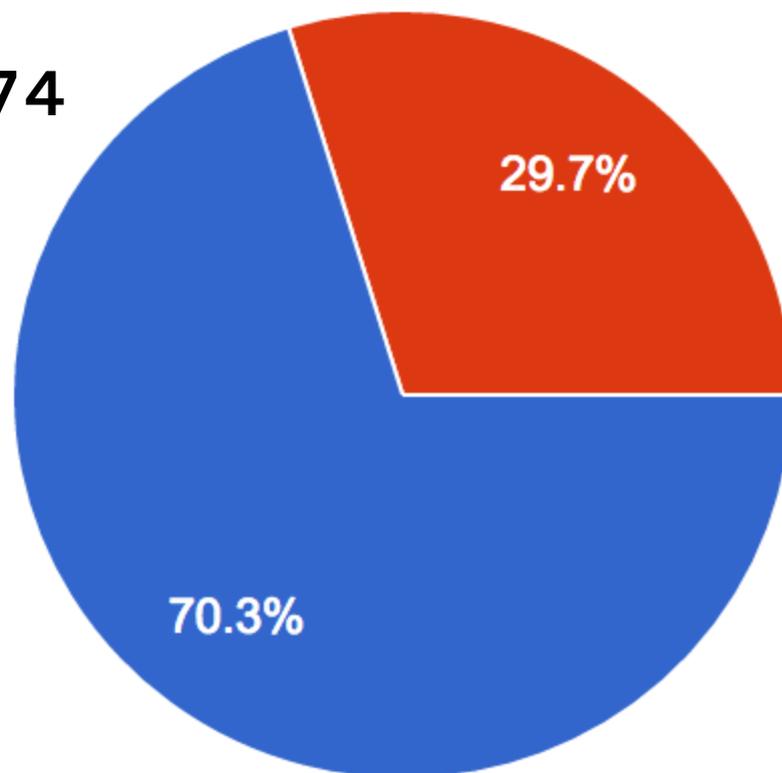
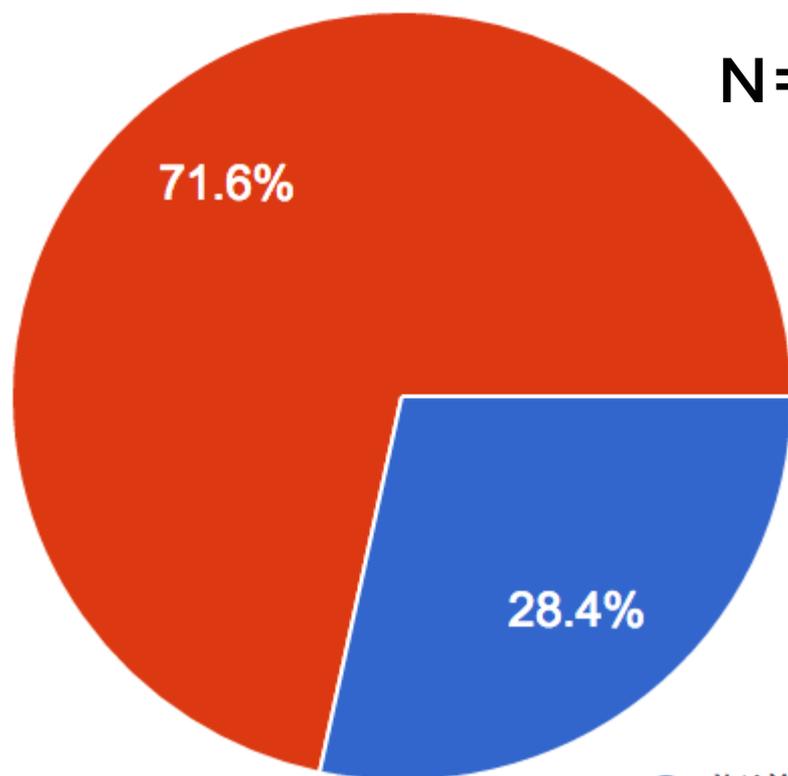
- 指導している
- 指導していない

情報IIの内容を現時点で…

情報社会の進展と情報技術

コミュニケーションと情報コンテンツ

N=74



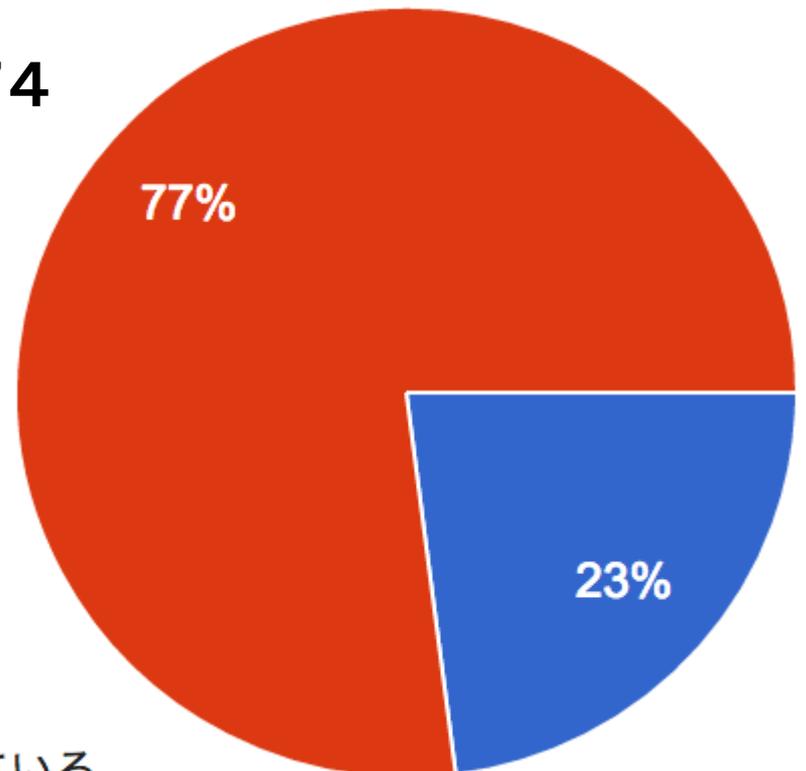
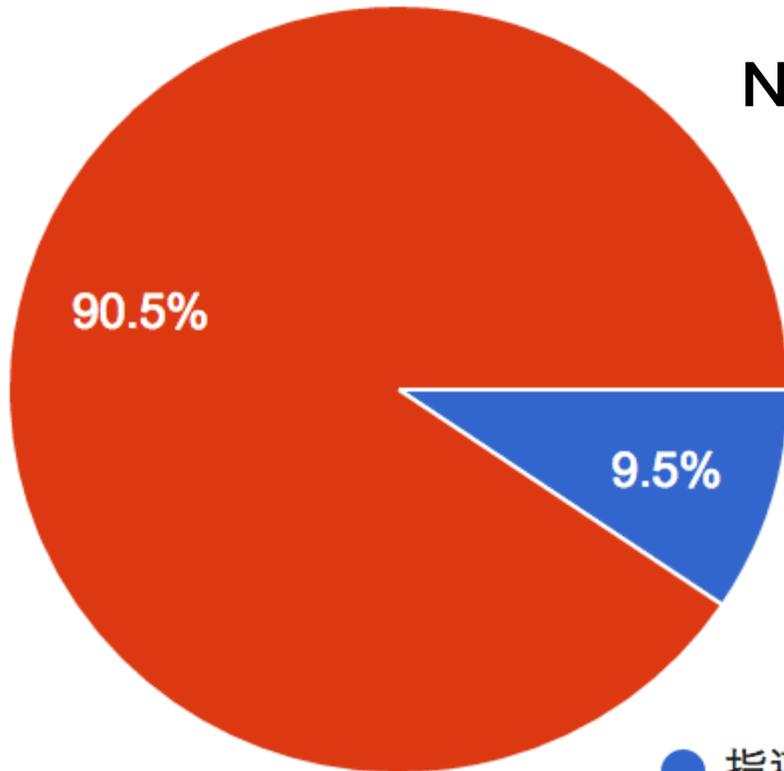
- 指導している
- 指導していない

情報IIの内容を現時点で…

情報とデータサイエンス

情報システムとプログラミング

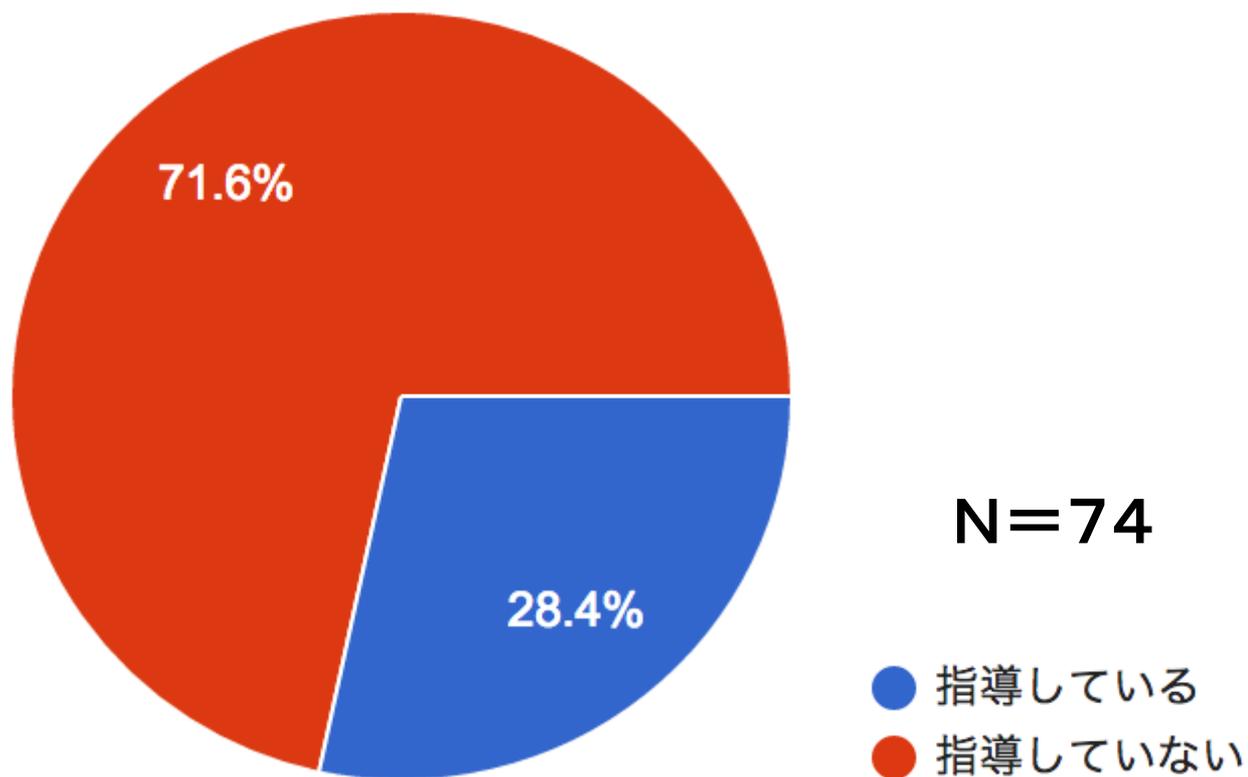
N=74



- 指導している
- 指導していない

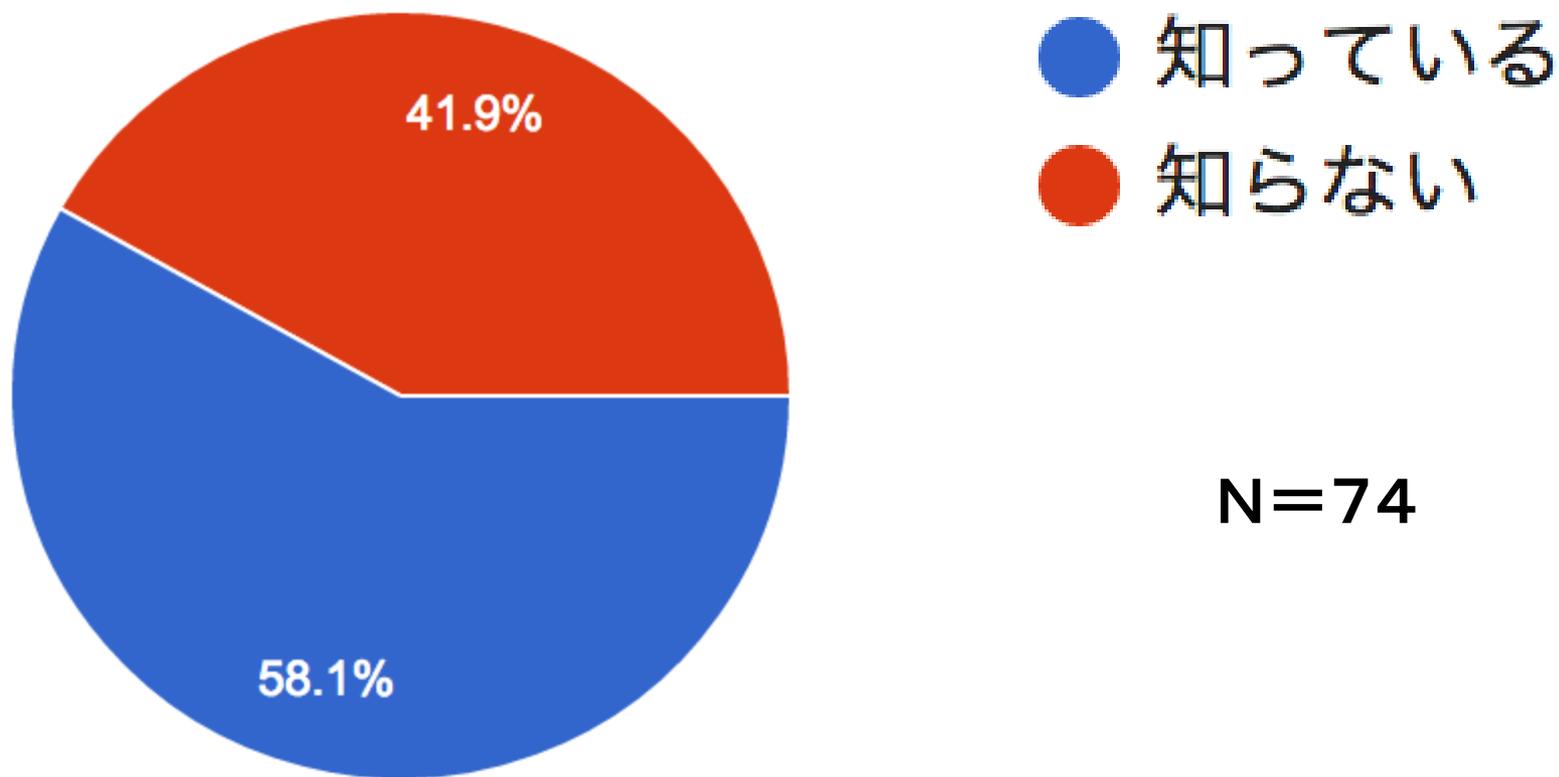
情報IIの内容を現時点で…

課題研究

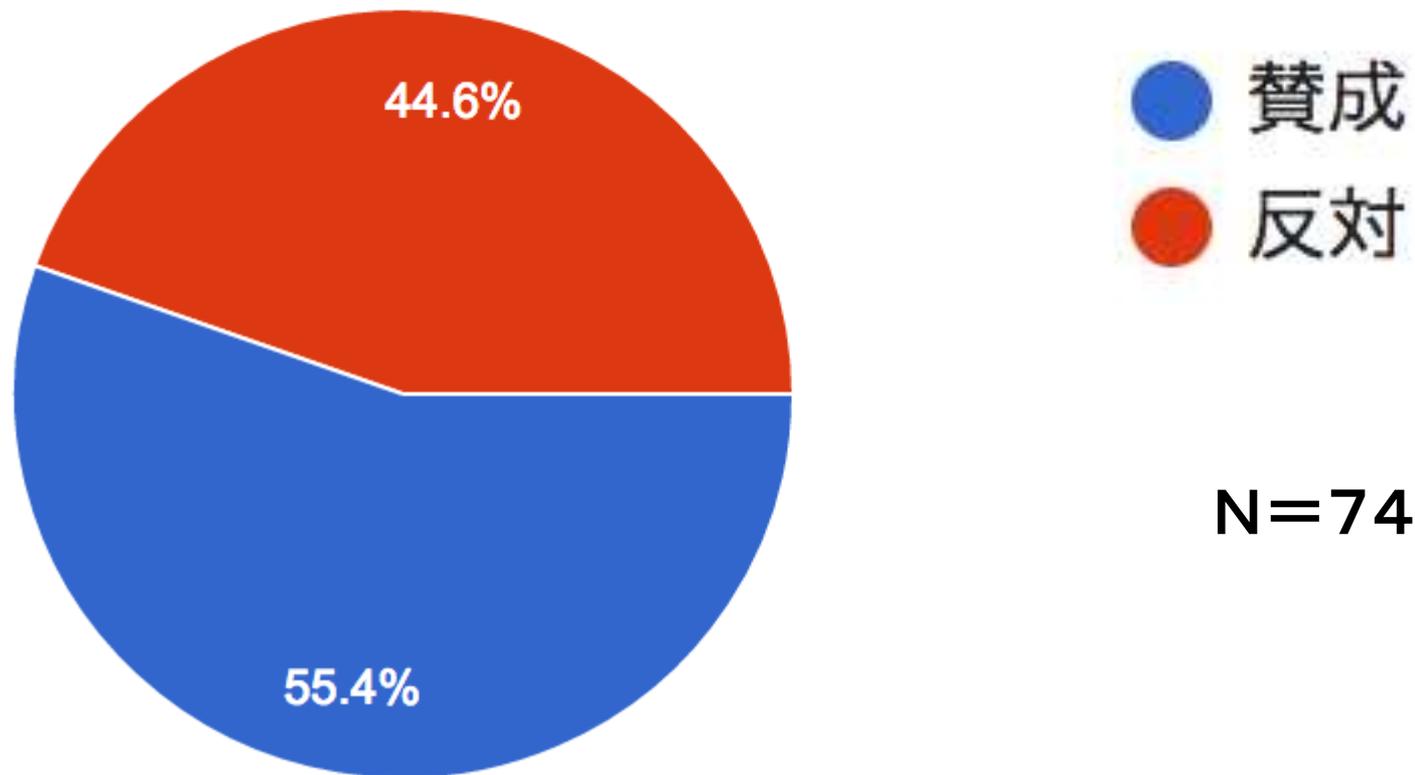


大学入試における 教科「情報」に関連した質問

12. 一部大学に「情報」入試が出題されていることを



13. 「情報」入試が 評価テストに導入されることに



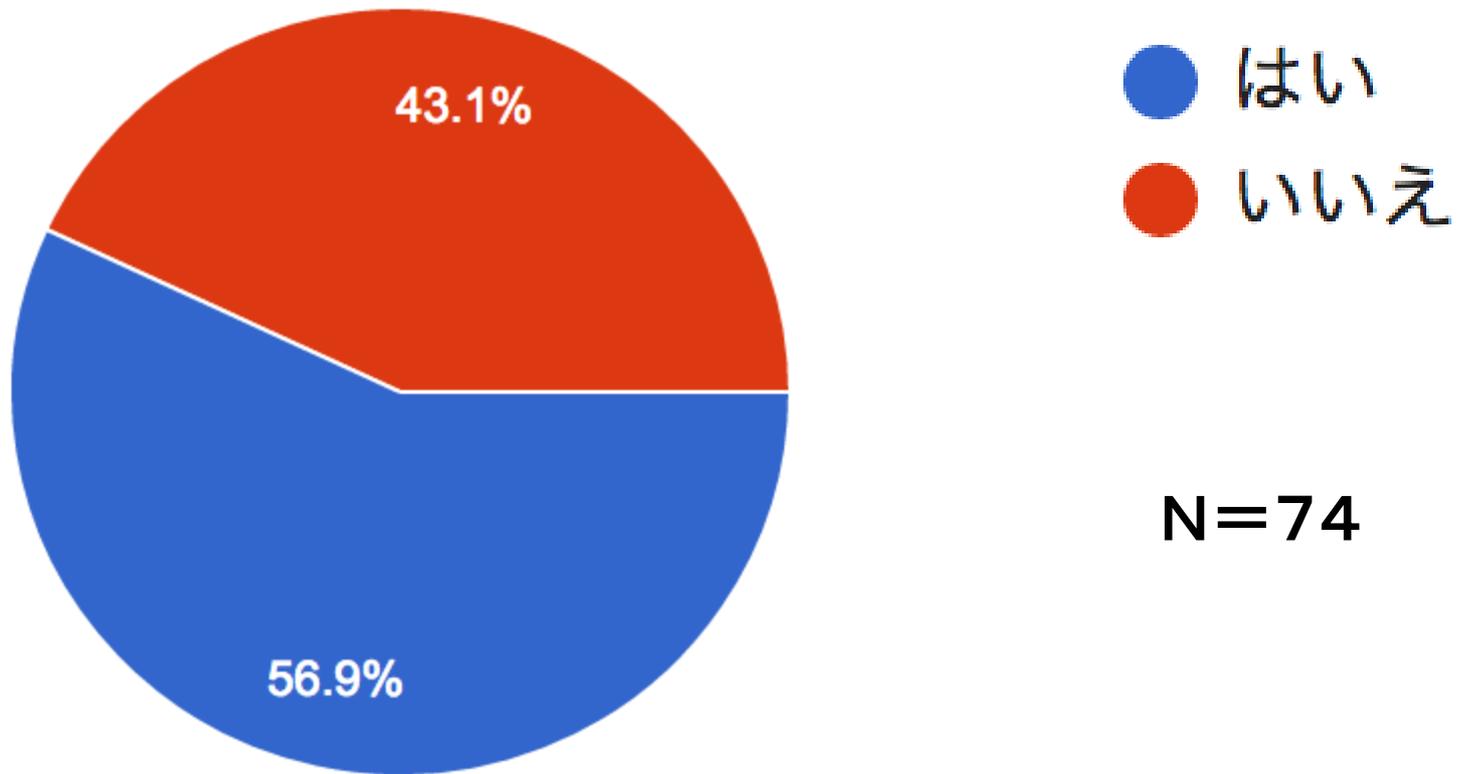
賛成の理由(自由記述)

● 別紙①

反対の理由(自由記述)

● 別紙②

14. 評価テストで 「思考力・判断力・表現力」が問えるか



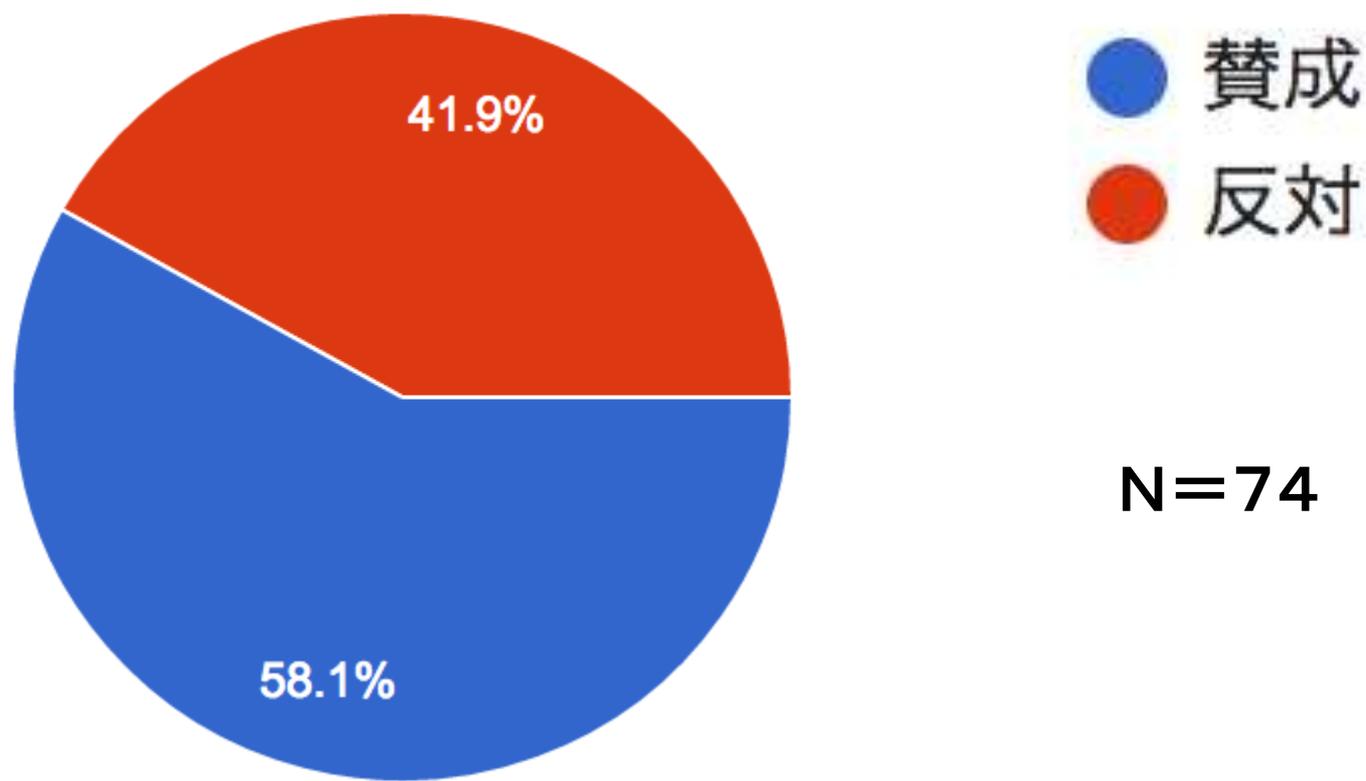
問えると思う理由(自由記述)

● **別紙③**

問えないと思う理由(自由記述)

● **別紙④**

15. 国公立二次試験や私立大学の一般入試で「情報」が広がることに



広がることに**賛成**の理由

● 別紙⑤

広がることに**反対**の理由

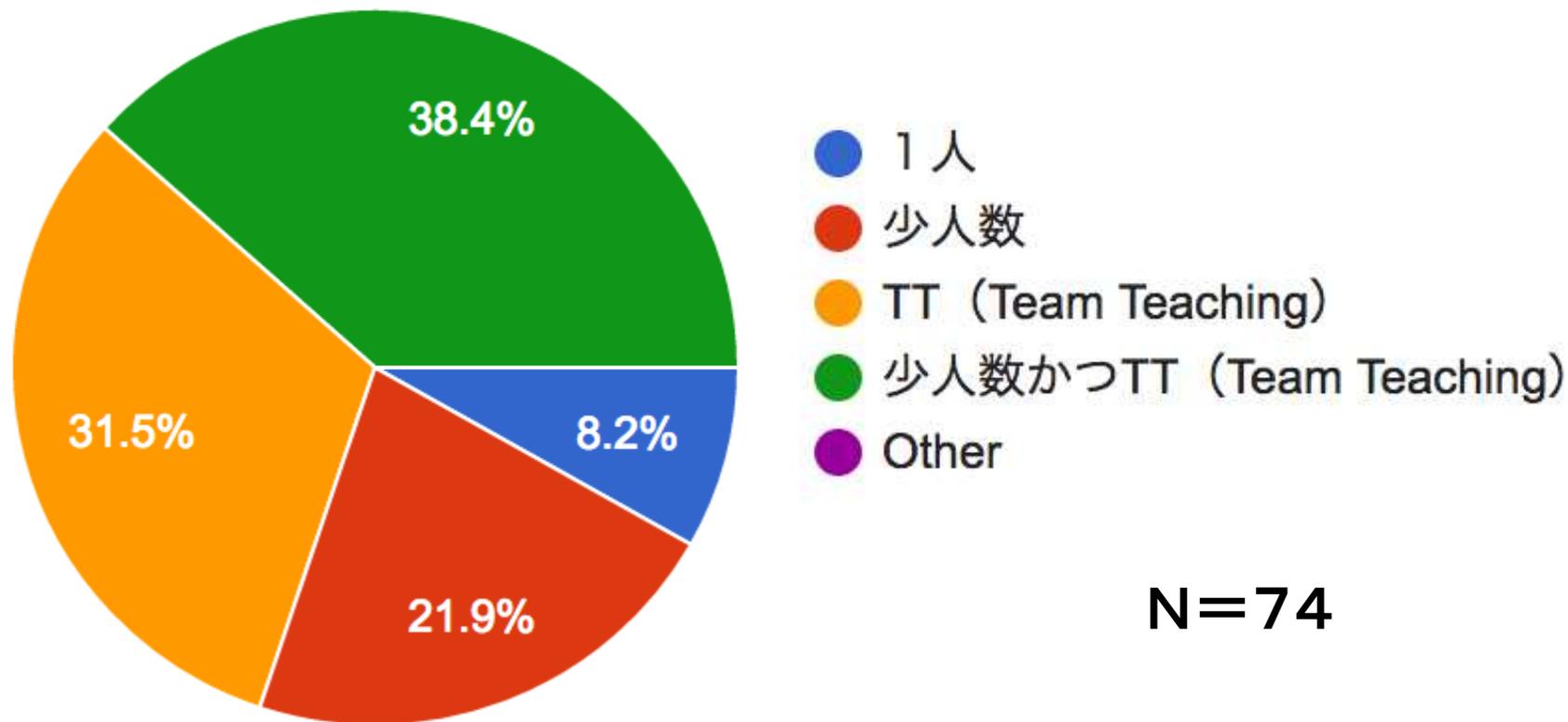
● 別紙⑥

その他の自由記述

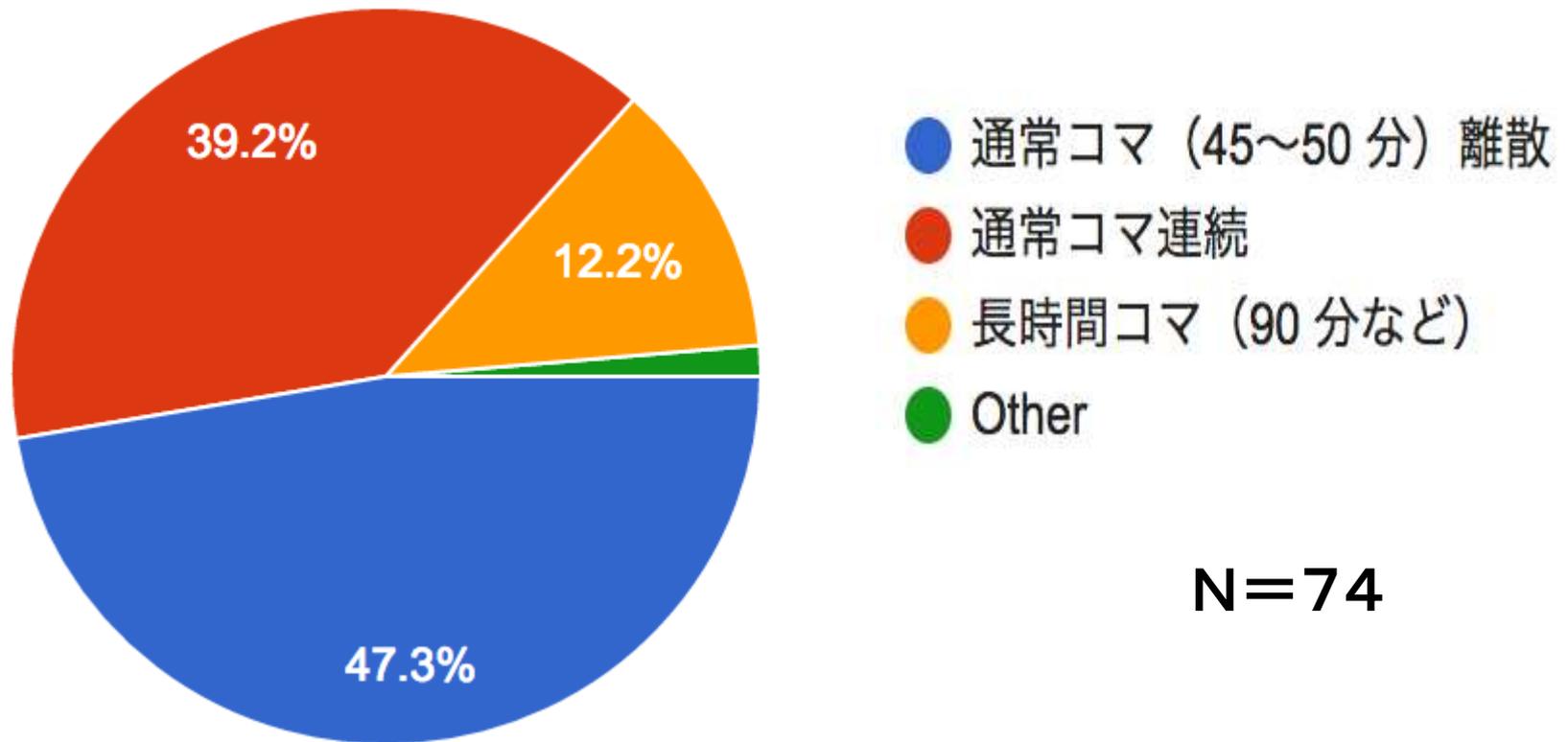
- ○どちらでもよい
- ○どちらとも言えないと思います。一般入試の問題にもよるとは思いますが、入試問題に答えるためのスキルを指導することで、上に挙げられたような力がつくとは考えにくいのではないのでしょうか。
- ○必修教科ではなく、選択教科として加える

**次期学習指導要領で問われる
「思考力・判断力・表現力」
に関連した質問**

思考力・判断力・表現力を 育むのにふさわしい授業形態



授業時間



10:思考力・判断力・表現力を 育むための教材(自由記述)

●別紙⑦

11: 思考力・判断力・表現力の 評価方法(複数選択)

